

		番号	地域課題	ポイント	手立ての必要度	手立て (対応策の検討)	
高齢者のニーズ		1-1	ADLが低下し仕事や趣味活動を諦める	移動支援	○	外出時の見守りの検討	
		1-2	ドアツードアの移動の金銭的負担が大きい	移動支援	○	乗合タクシーの普及・きたバスがサロンや体操クラブ実施場所に停車する	
		1-3	買い物方法の選択肢が少ない、知らない	スマホ・タブレットの活用 地域資源の発信		スマホ・タブレット教室の開催 地域支え合い推進員が配達できる業者の情報提供を行う。	
		1-4	介護度が重くなった時にどうしたいか決めていない	ACP		市民向けの人生会議の講演 終活にむけた啓発活動	
		1-5	安易にシニアカーを介護保険で借りれると思っている	介護サービスの適切な実施事項が理解されていない	○	保険者が福祉用具の適正利用について説明やQ&A作成し、市民にもその情報を公開する。	
住民・地域の課題		1-6	住民主体の趣味・サロン活動の支援体制	有償ボランティア		住民主体のボランティアの養成、ボランティアのマッチング	
		1-7	情報収集・活動披露の場が少ない	地域資源の把握と活用	○	レインボーネットの資源マップの情報整理・活用。 公共施設・福祉施設で活動発表の機会を作る	
		1-8	仕事を持つ介護者の情報交換の場が少ない	介護者用のSNSの活用		SNSによる情報提供、交流	
		1-9	歩道・道路が狭く整備されていない	シニアカー利用時のリスク周知		道路整備 シニアカーで安全に移動できるマップ作成	
		1-10	シニアカーが乗り入れできる施設、スーパーが少ない	屋内の移動支援	○	地域の店、施設に屋内の移動の介助を働きかける（車いすを押ししてもらったり歩行の付き添い）。またはシニアカーでそのまま店内移動ができるように働きかける（時間帯設定など）。	
社会資源の課題		介護	1-11	シニアカーが安全に運転できるかの可否判断が不明確	リスクの周知		福祉用具事業者等に安全に使用できるか判断のための分かりやすいチャート等の作成。
			1-12	趣味活動に特化した通所サービス	ケアマネと通所サービスの連携		ケアマネから通所サービス事業所に利用者のニーズを伝える。
		医療	1-13	複数の医院、調剤薬局利用時の情報共有		◎	コロナ禍でも顔の見える関係作り。成功例を知る機会、意見交換の場がある。
			1-14	同じ病気を抱えている人の交流の場所がない	ピアサポート		身近な場所に同じ疾患の人が集える場作り、マッチング。
		住まい	1-15	趣味活動のための改修のアドバイスを受ける機会がない。	住宅環境のアドバイス		自宅で趣味活動ができるよう、住改のアドバイスが受けられる機会を作る。
支援者の課題		専門職の数、資質	1-16	自立支援を意識したプラン提案より本人の希望プランが強い	ケアマネ支援 地域支え合い推進員との連携		介護サービス以外の資源をケアマネに知ってもらうような研修会、事例検討会の開催。 介護サービス以外の資源を地域支え合い推進員が情報提供する。
		連携、ネットワーク	1-17	利用しているサービス以外の分野の専門職からの意見を聞く機会がない	医療と介護の連携	◎	医療職と介護職が交流できる機会を作る。